

令和7年5月22日

静岡市長

難波 喬司 様

蒲原小中学校児童クラブ建設工事

プロポーザル審査会 委員長 中川 将巳

蒲原小中学校児童クラブ建設工事 プロポーザル審査会

審 査 会 報 告 書

令和7年5月20日に開催した蒲原小中学校児童クラブ建設工事公募型プロポーザルの審査会において、技術提案書の審査を行い、事業候補者及び次点事業候補者を特定しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 事業候補者
株式会社 ザ・トーカイ
- 2 次点事業候補者
チーム和共同企業体
(株式会社高木滋生建築設計事務所、大和建设株式会社JV)
- 3 その他の技術提案書提出者
有限会社 創作舎
- 4 蒲原小中学校児童クラブ建設工事プロポーザル審査会
審査講評

別紙のとおり

蒲原小中学校児童クラブ建設工事プロポーザル審査会

審 査 講 評

委員長	中川	将巳
委 員	脇坂	圭一
	萩原	智美
	飯田	浩史
	浅場	俊之
	長谷川	宏之
	永野	照雄

1 審査の経過

蒲原小中学校児童クラブ建設工事公募型プロポーザルにおける事業候補者の特定に関し、審査会を行った。

(1) 審査会（令和7年5月20日）

提出された技術提案書の内容による審議（非公開）を行った。

審議結果を基に、評価が最も高かった者を事業候補者とし、次位の者を次点事業候補者として特定した。

なお、審査会では事業候補者を特定するまで応募者名は公表せず、「応募者1」～「応募者3」という名称にて審査を行った。

2 全体講評

静岡市では、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、放課後や夏休み等の遊びと生活の場を提供し児童の健全育成を図る放課後児童健全育成事業（以下「放課後児童クラブ」という。）を実施している。本工事では、令和8年度の蒲原地区における施設一体型小中一貫校開校に合わせて、令和7年度に放課後児童クラブ室を蒲原小中学校内（現在の蒲原中学校内）に整備する。

本審査会は、この放課後児童クラブ室の整備における設計を含む建設工事の事業候補者をプロポーザル方式により特定した。

各応募者は、決められた条件の中、創意工夫を盛り込んだ技術提案書を提出していた。施設の要件や敷地周辺の状況等をよく把握し、技術提案書の各評価項目に対し、それぞれの視点から配慮した提案となっていた。

3 個別講評

事業候補者として特定された応募者の提案は、「こどもたちにとって安心して過ごせるもうひとつの家」を実現するために、静養スペースとは別に静養室兼多目的室を設置し、こどもの体調が優れないときなど、人目にふれず休息ができるスペースを確保したことが評価された。

建物としては、玄関側の軒を大きく伸ばすことで雨天時の保護者の送迎に配慮されていた。また、プレイルーム中央部の天井を上部吹抜けとし、ハイサイドライトから自然採光を取り入れ明るく開放的な空間となるように計画しており、利用者目線で建物機能をよく検討した提案であることが感じ取れた。

ただし、事務室の両隣がトイレとなっているため、平面プランについては、より検討を重ねたうえで業務を進めていくことを期待したい。

次点の応募者の提案は、屋上に展望スペースを計画しており、小中一貫校のグラウンドが中学生の部活動で使用された時でも、外で遊べるスペースとなっていることが評価された。また、入口のスロープを南北に伸ばすことで送迎の混雑緩和に配慮したことが評価された。

ただし、静養スペースが収納の前に計画されていたこと及びパーゴラ網入りガラス屋根のメンテナンスや雨水処理が懸念された。

その他の応募者に提案は、木造でオクシズ材をふんだんに使用していること、可動間仕切りを閉めたときにも2方向避難が確保されていることが評価された。ただし、評価項目に関する提案・記載が少なかったことから上位に選出されなかった。